

研究事業 衛星観測に関する研究事業(衛星観測センター)

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

○GOSAT の運用、GOSAT-2 のデータ処理システムの開発、さらには GOSAT-3 に向けた検討など年度計画に沿って順調に事業が進められており、温室効果ガスの観測によって研究を支える重要な基盤として地道な取り組みがなされている。
--

○国際的に大きく貢献する事業であり、日本の国際的プレゼンスを高めている。

今後への期待など

○今後も国内外の機関との連携を発展させつつ、リーダーシップを発揮して GOSAT 研究事業を進めていくことを期待する。

○衛星観測の出力結果のデータベース化により、更なる利用拡大と研究推進、他分野への活用を進めて欲しい。
--

主要意見に対する国環研の考え方

①今後も年度計画、中長期計画に従って事業を推進し、温暖化研究／行政の基盤としての責任を果たしていきたいと考えております。
--

②今後も温暖化に関する科学及び行政における我が国のプレゼンスの向上に貢献できるよう努力致します。
--

③今後も国内外の研究機関、大学等との連携を進めるとともに、国環研が衛星による温室効果ガス観測に関する研究の世界的な中心となるよう、努力致します。
--

④既に蓄積された GOSAT データ、今後蓄積される GOSAT-2 データの活用が推進されるようなデータ管理を今後検討致します。また他衛星や衛星以外の観測、モデル等との連携を通じた GOSAT データの他分野における活用についても検討致します。
